

夏子センセイ



公演について語る佐藤さん

藤沢市立辻堂小で教壇に立つ傍らプロ顔負けのフラメンコダンサーとしても活躍する佐藤夏子さん(四五)があす六日、茅ヶ崎市民文化会館大ホールで公演会「スペイン人六人と佐藤夏子フラメンコ」を開く。佐藤さんは、フラメンコ歴二十年以上で自主公演は三回目。佐藤さん自身が日本の民話を題材に創作したフラメンコなどに挑戦する。

●あす茅ヶ崎で●

フラメンコを披露!

佐藤さんは福島県生まれ。大学卒業と同時に川崎市内の小学校に赴任して以来、今年で教師生活は二十四年目。現在は同小四年四組の担任教諭。

フラメンコを始めたのは二十一年前。当時、日本のスペイン舞踊の第一人者だった故河上鈴子さんの東京公演を見た。カスターネットの音色や舞台の凜(りん)とした美しさに魅せられ、すぐに弟子入りを決めたといい。河上さんの下、十年以上修業を続けるうち実力を付け、河上さんに推薦されて現代舞踊協会と日本フラメンコ協会の会員にもなっている。

日本の民話を題材に創作も

今回の公演は、佐藤さん、レオさんが、十月中旬に共同公演を持ちかけたのがきっかけになって実現。愛の時から。

激しさや別離の孤独感などを「パレハ」で演じるほか、民話「鶴の恩返し」をもとに佐藤さん自身が振付付けや作曲をした創作フラメンコ「鶴」など全十曲のプログラムが予定されている。フルートやギターなど伴奏は、新しいリズムを使う演奏家を多くそろえているという。

佐藤さんは「フラメンコは、一曲一曲のなかに悲しみや喜びなど人生のさまざまな瞬間が詰まっている。音楽と踊りが完すべきに合う舞台を楽しんでほしい」と話している。開演は午後七時。

藤沢・辻堂小の佐藤教諭

横浜支局 中区桜木III 電045-201 Fax 2
 湘南支局 鎌倉市腰越 電0467-32 Fax
 横須賀支(〒238)横大が 電0468-23 Fax
 厚木支局 厚木市妻田 電0462-21 Fax 22
 川崎支局 川崎区本III 電044-222 Fax 2
 通信 鎌倉0467 平塚0463 小田原0465 相模原0427 大和0462 奈野0463 緑045 高津044 麻生044 情報や7式